

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成30年 2月 2日 10時00分～12時30分

出席委員：立花委員長・佐伯委員・入谷委員・後藤委員・柘植委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成29年中における被留置者収容実態等のまとめ	総務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長
2	警察安全相談等及び苦情取扱状況（平成29年）	警務部	
3	主要事件の検挙	生活安全部	
4	暴力追放セミナーの開催	刑事部	
5	主要事件の検挙		
6	平成29年度衣浦港テロ対策合同訓練の実施	警備部	

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（9件）	総務部	公安委員会執務官
2 決裁	激励の上申（3件）		
3 決裁	警察署協議会委員の辞職及び委嘱（3件）		
4 報告	被疑者取調べ監督の実施状況（平成29年中）		総務課長
5 裁決	放置違反金納付命令に対する審査請求	警務部	訟 務 官
6 裁決	運転者区分決定に対する審査請求		
7 決定	聴聞等の実施結果・決定 66件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 総務部

平成29年中における被留置者収容実態等のまとめ

総務部長から、
平成29年中における被留置者収容実態等
について報告があった。

(2) 警務部

警察安全相談等及び苦情取扱状況（平成29年）

警務部長から、平成29年中の警察安全相談等及び苦情の取扱状況について、

「警察安全相談等の受理件数は114,683件で、平成28年中に比べ1,781件増加した。

公安委員会宛苦情の受理件数は48件、警察宛苦情の受理件数は94件であった」
旨の報告があった。

(3) 生活安全部

主要事件の検挙

生活安全部長から、
金塊密輸に係る関税法違反等事件の検挙概要
について報告があった。

(4) 刑事部

ア 暴力追放セミナーの開催

刑事部長から、

「2月9日（金）午後1時30分から、名古屋国際会議場において、暴力団等による組織犯罪や民事介入暴力事案等への適切な対応によって被害防止を図るとともに、県民の暴力団排除気運の高揚を図るため、暴力追放セミナーを開催する」

旨の報告があった。

イ 主要事件の検挙

刑事部長から、

豊川市内における 男性被害殺人等事件の検挙概要
中国人女性による医師法違反事件の検挙概要
ヤード経営者の検挙によるヤード対策の推進

について報告があった。

(5) 警備部

平成29年度衣浦港テロ対策合同訓練の実施

警備部長から、

「2月8日（木）午後1時30分から、衣浦港において、事案発生時の関係機関相互の対応状況を確認するとともに、関係機関の連携をより一層強化し、事案対応能力の向上を図るために実施される合同訓練に、本県警も参加する」

旨の報告があった。

委員から、

「こういった訓練を行っていることを県民に積極的に広報し、テロ防止の気運を高めてほしい」

旨の発言があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（8件）

公安委員会執務官から、

公安委員会執務官から、

1月29日までに届いた公安委員会宛の文書等8件について報告があり、公安委員会は、「通報への対応に関する申出」を警察法第79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 激励の上申（3件）

公安委員会執務官から、

警察署の護送業務の負担軽減及び被護送者の逃走事故防止の取組
金地金密輸入に係る関税法違反等事件合同捜査本部
豊川市内における男性被害殺人等事件捜査本部
に対する激励の上申について説明があり、決裁した。

(3) 警察署協議会委員の辞職及び委嘱（3件）

公安委員会執務官から、

警察署協議会委員の辞職及び委嘱3件について報告があり、3警察署協議会委員3人の辞職及び後任者2人の委嘱について決裁した。

(4) 被疑者取調べ監督の実施状況（平成29年中）

総務課長から、

平成29年中における被疑者取調べ監督の実施状況について報告があった。

(5) 放置違反金納付命令に対する審査請求

訟務官から、放置違反金納付命令に対する審査請求について、請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、原案どおり裁決した。

(6) 運転者区分決定に対する審査請求

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求について、請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、原案どおり裁決した。

(7) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 63件
風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 3件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成30年2月9日 8時55分～12時40分

出席委員：立花委員長・入谷委員・後藤委員・柘植委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成30年度当初予算（案）の概要	総務部	本 部 長
2	情報公開及び自己情報の開示請求等の状況（平成29年中）	警務部	総 務 部 長
3	第60回愛知県警察拳銃射撃競技大会の実施		警 務 部 長
4	報告 主要事件の検挙	生活安全部	生活安全部長
5	刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成30年1月末）	刑事部	地 域 部 長
6	主要事件の検挙		刑 事 部 長
7	交通事故発生状況（平成30年1月末）	交通部	交 通 部 長
			警 備 部 長
			名古屋市警察部長
			情報通信部長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（2件）	総務部	公安委員会執務官
2	決裁 激励の上申（2件）		
3	決裁 愛知県手数料条例の一部改正		会 計 課 長
4	裁定 犯罪被害者等給付金支給裁定（2件）	警務部	住 民 サ - ビ 入 課 長
5	決裁 苦情の調査結果		
6	報告 監察案件		首 席 監 察 官
7	報告 上半期における交通事故抑止対策について	交通部	交 通 部 長
8	報告 運転免許試験場建替え工事開始後1か月の状況		運 転 免 許 課 長
9	報告 名古屋市との治安連絡会の開催結果	名古屋市警察部	企 画 調 整 課 長
10	決定 聴聞等の実施結果・決定 69件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 総務部

平成30年度当初予算（案）の概要

総務部長から、平成30年度当初予算(案)の概要について、

「平成30年度当初の予算額は1,701億5,315万8千円（平成29年度当初予算比12億3,600万9千円増）で、主な事業内容は、

組織体制の充実

県民の生活を脅かす犯罪の抑止と検挙力の強化

安全・快適な交通環境の実現

災害に備えた総合対策の推進

治安の基盤たる警察施設の整備

全国植樹祭開催に伴う警戒警備に向けた準備

である」

旨の報告があった。

委員から、

「各分野における広報にも力を入れてほしい」

旨の発言があった。

(2) 警務部

ア 情報公開及び自己情報の開示請求等の状況（平成29年中）

警務部長から、平成29年中の情報公開及び自己情報の開示請求等の状況について、

「情報公開の開示請求件数は、公安委員会宛が1件、警察本部長宛が339件であった。

自己情報の開示請求件数は、公安委員会宛が6件、警察本部長宛が419件であった」

旨の報告があった。

イ 第60回愛知県警察拳銃射撃競技大会の実施

警務部長から、第60回愛知県警察拳銃射撃競技大会について、

「2月15日(木)午前9時30分から、愛知県警察学校射撃場において開催する」

旨の報告があった。

(3) 生活安全部

主要事件の検挙

生活安全部長から、

仮想通貨に絡む不正指令電磁的記録作成・同供用事件の検挙概要について報告があった。

委員から、

「更に高度な手口の犯罪への対応はどうか」

旨の質問があり、

生活安全部長から、

「情報技術の知識を持った警察官を採用しているほか、警察庁、情報セキュリティ団体等と連携して対応していく」

旨の説明があった。

(4) 刑事部

ア 刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成30年1月末）

刑事部長から、平成30年1月末での刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（前年同期との比較）について、

「 刑法犯の認知件数は4,349件で、1,024件減少した

刑法犯の検挙件数は1,782件で、171件減少した

刑法犯の検挙率は41.0パーセントで、4.7ポイント上昇した

刑法犯の検挙人員は1,107人で、59人減少した
重要窃盗犯の認知件数は589件で、184件減少した
重要窃盗犯の検挙件数は465件で、198件増加した
重要窃盗犯の検挙率は78.9パーセントで、44.4ポイント上昇した
重要窃盗犯の検挙人員は53人で、7人増加した」
旨の報告があった。

イ 主要事件の検挙

刑事部長から、
外国人グループによる組織的自動車盗事件の検挙概要
外国人密売組織による大量覚醒剤所持事件の検挙概要
について報告があった。

委員から、
「こうした事件の検挙により、自動車盗の減少につなげてほしい」
旨の発言があった。

(5) 交通部

交通事故発生状況（平成30年1月末）

交通部長から、平成30年1月末の交通事故発生状況について、
「交通事故死者数は、1月中17人で前年同月に比べ5人増加した。

1月中の交通死亡事故の主な特徴としては、

高齢者が被害者となる死亡事故が多発

高齢者が第一原因となる死亡事故が急増

歩行者が被害者となる死亡事故が多発

下旬に多発

積雪等の影響が考えられる死亡事故が連続発生

である。

2月中の主な取組は、

歩行者保護対策強化旬間の実施

官民一体となった県内一斉大監視の実施

尾張ブロッカー斉取締り
交通街頭活動の強化

である」
旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（2件）

公安委員会執務官から、
2月5日までに届いた公安委員会宛の文書等2件
について報告があり、決裁した。

(2) 激励の上申（2件）

公安委員会執務官から、
仮想通貨に絡む不正指令電磁的記録作成・同供用事件合同捜査本部
外国人グループによる組織的自動車盗事件捜査班
に対する激励の上申について説明があり、決裁した。

(3) 愛知県手数料条例の一部改正

会計課長から、
「地方公共団体の手数料の標準に関する政令及び道路交通法施行令の一
部改正が行われたことに伴い、愛知県手数料条例の一部を改正する」
旨の説明があり、決裁した。

(4) 犯罪被害者等給付金支給裁定（2件）

住民サービス課長から、
重傷病給付金支給裁定 1件
障害給付金支給裁定 1件

について説明があり、いずれも原案どおり裁定した。

(5) 苦情の調査結果

住民サービス課長等から、
公安委員会宛の「逮捕時の対応に関する苦情」について、調査結果の報告及び申出者に対する通知文案の提示と説明
があり、原案どおり決裁した。

(6) 監察案件

首席監察官から
監察案件
について報告があった。

(7) 上半期における交通事故抑止対策について

交通部長から、上半期における交通事故抑止対策について、
「交通事故抑止の柱を『高齢者・自転車・交差点』とし、高齢者（歩行者・自転車）対策を活動の重点として各種施策を推進する」
旨の報告があった。

(8) 運転免許試験場建替え工事開始後 1 か月の状況

運転免許課長から、
運転免許試験場建替え工事開始後 1 か月の状況
について報告があった。

(9) 名古屋市との治安連絡会の開催結果

企画調整課長から、名古屋市との治安連絡会開催結果について、

「2月5日(月)、名古屋市役所で開催し、本県警察からは本部長以下12名、名古屋市からは、市長以下17名が出席した。

名古屋市からは、

名古屋市客引き行為等の禁止等に関する条例の制定

名古屋市犯罪被害者等支援条例の制定

名古屋市住居の堆積物による不良な状態の解消に関する条例の制定

について説明があり、本県警察からは、

平成29年中の暴力団情勢等

平成29年中の交通死亡事故発生状況及び平成30年の交通事故抑止対策

市民に多大な不安を与える犯罪の抑止と検挙

について説明した」

旨の報告があった。

(10) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 65件

風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 3件

銃砲所持許可の取消処分に関する聴聞結果 1件

について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成30年2月16日 10時00分～12時25分

出席委員：立花委員長・佐伯委員・入谷委員・後藤委員・柘植委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

	案件	件 名	担当部	出席者
1	報告	「公益社団法人被害者サポートセンターあいち」設立 20周年記念式典の実施	警務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地域総務課長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長
2		第60回愛知県警察拳銃射撃競技大会の結果		
3		特殊詐欺の認知・検挙状況（平成29年中）	刑事部	
4		主要事件の検挙		
5		行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成30年1月中）	警備部	

2 個別審議（公安委員執務室）

	案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁	激励の上申（2件）	総務部	公安委員会執務官
2	決裁	警察署協議会委員の委嘱		
3	報告	人事案件	警務部	警 務 部 長 訟 務 官
4	裁決	運転免許取消処分に対する審査請求		
5	裁決	運転者区分決定に対する審査請求（2件）		
6	裁決	放置違反金納付命令に対する審査請求		
7	裁決	運転免許停止処分に対する審査請求		
8	報告	ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施	生活安全部	子ども女性安全対策課長
9	決裁	愛知県暴力団排除条例による勧告	刑事部	組織犯罪対策課長
10	決定	聴聞等の実施結果・決定	総務部	75件 首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 警務部

ア 「公益社団法人被害者サポートセンターあいち」設立20周年記念式典の実施

警務部長から、

「2月24日(土)午前10時から、アイリス愛知において、『公益社団法人被害者サポートセンターあいち』設立20周年記念式典が開催され、20年の長きにわたり会員として事業活動に理解と協力を賜っている法人、個人の貢献に感謝するとともに、同センターの支援活動を内外ともに広く広報・周知する」

旨の報告があった。

委員から、

「有意義な活動を地道に継続された」

「重要な活動なので、組織・財政基盤を含め、警察でも支援拡充を考えてほしい」

旨の発言があった。

イ 第60回愛知県警察拳銃射撃競技大会の結果

警務部長から、

2月15日(木)午前9時30分から、愛知県警察学校射撃場において開催された第60回愛知県警察拳銃射撃競技大会の結果

について報告があった。

(2) 刑事部

ア 特殊詐欺の認知・検挙状況(平成29年中)

刑事部長から、平成29年中における特殊詐欺の認知・検挙状況（平成28年中との比較）について、

「 認知件数は648件で、412件減少した
検挙件数は178件で、6件減少した
検挙人員は164人で、19人増加した」

旨の報告があった。

委員から、

「金融機関やコンビニエンスストアと連携するなどして、更なる未然防止に努めてほしい」

旨の発言があった。

イ 主要事件の検挙

刑事部長から、

豊橋市内在住の男性被害死体遺棄事件の検挙概要
キャッシュカード手交型特殊詐欺事件の検挙概要

について報告があった。

委員から、

「上部組織の検挙につなげてほしい」

旨の発言があった。

(3) 警備部

行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成30年1月中）

警備部長から、1月中の行進又は集団示威運動に関する条例の取扱状況について、

「3件の許可申請を受理し、全て許可した」

旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 激励の上申

公安委員会執務官から、
豊橋警察署・三河海上保安署合同捜査本部
キャッシュカード等手交型特殊詐欺事件合同捜査本部
に対する激励の上申について説明があり、決裁した。

(2) 警察署協議会委員の委嘱

公安委員会執務官から、
警察署協議会委員の委嘱 1 件
について報告があり、警察署協議会委員 1 人の委嘱について決裁した。

(3) 人事案件

警務部長から、
人事案件
について報告があった。

(4) 運転免許取消処分に対する審査請求

訟務官から、運転免許取消処分に対する審査請求について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、審議し、原案どおり裁決した。

(5) 運転者区分決定に対する審査請求（2件）

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求 2 件について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、審議し、いずれも原案どおり裁決した。

(6) 放置違反金納付命令に対する審査請求

訟務官から、放置違反金納付命令に対する審査請求について、請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、原案どおり裁決した。

(7) 運転免許停止処分に対する審査請求

訟務官から、運転免許停止処分に対する審査請求について、請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、原案どおり裁決した。

(8) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施

子ども女性安全対策課長から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施について、
「平成30年1月中は、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づき、押し掛け等を理由に禁止命令を1件実施した。
また、待ち伏せ、連続電話、粗野乱暴な言動等を理由に23件の警告を実施した」
旨の報告があった。

(9) 愛知県暴力団排除条例による勧告

組織犯罪対策課長から、
「愛知県暴力団排除条例第25条の規定により、勧告を実施する」
旨の説明があり、決裁した。

(10) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果	72件
風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果	3件

について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成30年2月23日 9時00分～11時35分

出席委員：立花委員長・佐伯委員・入谷委員・柘植委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	3月の行事予定	警務部	本 部 長 総 務 部 長
2	交番相談員の制服変更	地域部	警 務 部 長 生活安全部長
3	報告 分裂後の暴力団情勢等	刑事部	地 域 部 長 刑 事 部 長
4	主要事件の検挙		交 通 部 長 警 備 部 長
5	「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2018」開催に伴う交通対策等の実施	交通部・警備部	名古屋市警察部長 情報通信部長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	出席者
1 報告	人事案件	本 部 長

案件	件 名	担当部	出席者
2 決裁	公安委員会宛文書等の受理（4件）	総務部	公安委員会執務官
3 決裁	犯罪被害者等給付金支給裁定に係る審査請求に対する国家公安委員会への弁明書等の提出	警務部	住 民 サ ー ビ ス 課 長
4 報告	監察案件		首 席 監 察 官
5 決裁	愛知県公安委員会規則の一部改正	生活安全部	保 安 課 長
6 決裁	愛知県公安委員会規程の一部改正		
7 決裁	準中型自動車免許教習に係る公安委員会の指定	交 通 部	運 転 免 許 課 長
8 決裁	行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請	警 備 部	警 備 課 長
9 決定	聴聞等の実施結果・決定 69件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 警務部

3月の行事予定

警務部長から、
3月の行事予定
について報告があった。

(2) 地域部

交番相談員の制服変更

地域部長から、
「交番において地域警察官とともに活動している交番相談員の制服を受
傷事故防止及びコスト削減を図るため、変更する」
旨の報告があった。

(3) 刑事部

ア 分裂後の暴力団情勢等

刑事部長から、
分裂後の暴力団情勢等
について報告があった。

イ 主要事件の検挙

刑事部長から、
名古屋市瑞穂区における強盗・強制性交等致死事件の検挙概要

について報告があった。

(4) 交通部・警備部

「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2018」開催に伴う交通対策等の実施

交通部長及び警備部長から、「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2018」開催に伴う交通対策等の実施について、

「3月11日(日)、マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2018として、『名古屋ウィメンズマラソン』等複数の大規模路上競技会が同時に開催されることに伴い、交通対策、雑踏警備、警備諸対策等の各種対策を実施する」

旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 人事案件

本部長から、
人事案件
について報告があった。

(2) 公安委員会宛文書等の受理（4件）

公安委員会執務官から、
2月19日までに届いた公安委員会宛の文書等4件
について報告があり、決裁した。

(3) 犯罪被害者等給付金支給裁定に係る審査請求に対する国家公安委員会への 弁明書等の提出

住民サービス課長から、

「平成29年9月22日に行った遺族給付金支給裁定について、当該給付金申請者が国家公安委員会に対して行った審査請求に対して、国家公安委員会へ弁明書等を提出する」

旨の報告及び弁明書案等の提示があり、原案どおり決裁した。

(4) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

(5) 愛知県公安委員会規則の一部改正

保安課長から、
「介護保険法の一部改正に伴い、銃砲刀剣類所持等取締法の一部が改正されることから、銃砲刀剣類所持等取締法第4条の3第2項又は第12条の3の診断を行う医師の指定等に関する規則を整備する」
旨の説明があり、決裁した。

(6) 愛知県公安委員会規程の一部改正

保安課長から、
「高圧ガス保安法、放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律の一部改正等に伴い、愛知県公安委員会事務専決規程の該当部分について整備する」
旨の説明があり、決裁した。

(7) 準中型自動車免許教習に係る公安委員会の指定

運転免許課長から、
「準中型自動車免許の新設を内容とする改正道路交通法の施行に伴い、同法99条に基づく指定自動車教習所に対して、新たに準中型自動車免許に

係る公安委員会の指定を申請する」
旨の説明があり、決裁した。

(8) 行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請

警備課長から、
3月4日に行われる示威集会及び行進の許可申請の内容
について報告があり、決裁した。

(9) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 64件
風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 4件
○ 銃砲所持許可の取消処分に関する聴聞結果 1件
について報告があり、行政処分を決定した。